

まほろば通信

木下 介士

お花見も終わってさわやかな季節となりました。「まほろば」は今日も賑やかです。前号でお伝えした「まほろば」増築計画、工事がすべて終了、利用を開始いたしました、わずか9平方メートル程の面積ですが、なかなか使い勝手が良く、ご利用者さん皆さんに喜ばれています。そしてこれも前号でお知らせいたしました「共生型サービス」も、4月1日付けで「まほろば」に対し「生活介護事業所」の指定通知書が東京都から交付されました。65歳未満で、16種類の特定疾病に該当しない、一定以上の障害をお持ちの方にご利用いただける施設です。これで「高齢者」も「障害者」も共に、という私達の夢が一步前進いたしました。これも皆様方の応援があつてのことです。有難うございます。

また、現在10名の定員を14名に増やす手続きをしています。一人でも多くの、支援や介護を必要とされる方に手を差し伸べたい、そんな気持ちでの増員ですが、いろいろ問題もあります。ひとつは送迎です。きまった時間までに到着される様、お迎えに伺いますが、ご利用者さんは市内全域にばらばらにお住まいです。お一人ずつピックアップして回りますのでとても時間がかかります。かといって送迎車を増やすのは簡単ではありません。コストを考えると現在の2台が精一杯です。介護スタッフも、有資格者の専門職(看護師、理学療法士、言語聴覚士、作業療法士、社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士、歯科衛生士、等々)を揃えるのは大変です。(現在、まほろばには上記すべての有資格者が在籍しています)

そんなこんなで、まほろばを維持、運営していくのは、結構しんどいことです。もっともっと、国の制度が整備され、充実されたものになって、施設も、ご利用される方も、笑顔で毎日が過ごせるようになるよう、祈ってやみません。

